

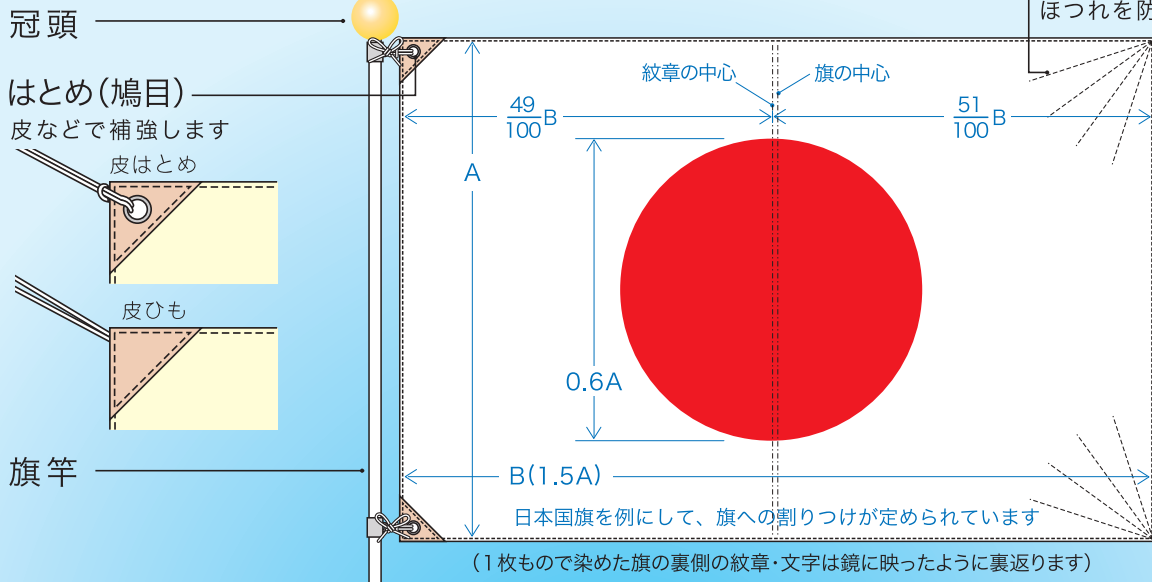
旗は会社、団体等を象徴するシンボルとして、大切に扱われます。

団体旗・町会旗・応援旗・国旗 **旗** 卓上旗・手旗・高級刺繍旗

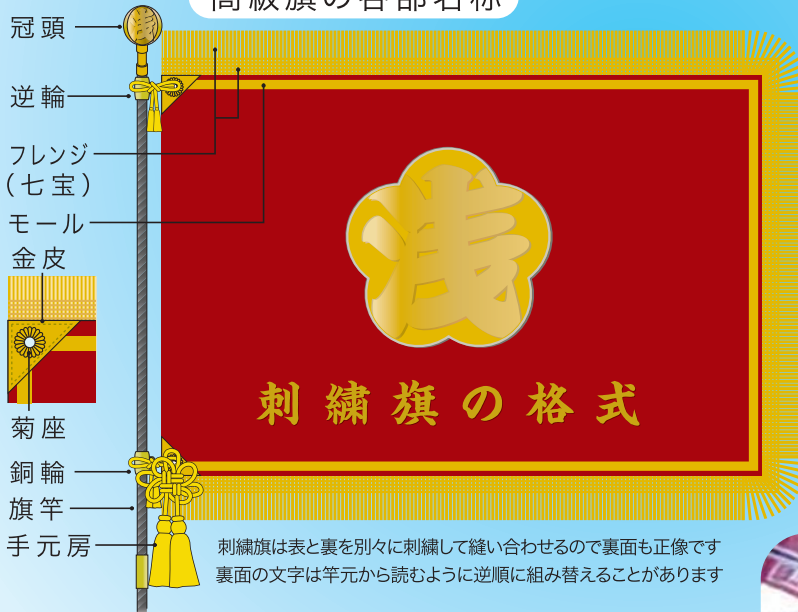
式典等に用いられる高級旗と、常用する略旗とが使い分けされています。

旗の基本仕様 (旗竿に結ぶ側を竿元と言います。旗は基本的に左側が竿元です。)

刺し子
風のたなびきによるほつれを防止します

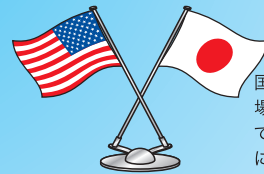
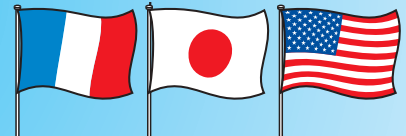


高級旗の各部名称



国旗の掲揚

三か国の国旗を掲揚する場合は、通常自国旗を中央に、来賓国旗はアルファベット順に従って先順位の国旗を向かって左に、後順位の国旗を向かって右に掲げます。



国旗と外国旗を交差する場合は、国旗を門外より見て右側(旗竿のものは左)に掲げ、旗竿は内側とします。

—素材と印刷方法—

- 正式な社旗等 —— 刺繍……………絹(綾錦/京錦)
- 略社旗等 —— 友禅染め/反応染め……………絹/アクリル/綿
- 常用旗 —— シルク印刷/転写……………綿/ポリエステル

その他の技法

- 抜染(ぼっせん) ……先染まりの色生地から色を抜いて柄を現す方法
 - ひき染(防染) ……大漁旗(多色) ● ゴ染(防染) ……(単色)のれん/前掛け
- 使用する生地の中のバリエーションから旗の中方向が選定されます。小幅は約380mm。1,800巾を超えるものは、はぎ合わせる場合もあります。

